



奥間っ子

奥間小学校
第36号
校長 久高利美子

〈めざす学校像〉

学ぶことが楽しい学校

あいさついっぱい 花いっぱい
友だちいっぱい 読書いっぱい



人権講話 **心やさしく すなおに**

講師：『**いっぽ いっぽ**』 作者 **田畑ユカリさん**

いいなあとおもったところは、かぞくみんなでたすけあうところがいいなあとおもいました。すごかったのでまたよみにきてください。
(一年 ひがこは)

ともくんとしゅうちゃんにあってみたいです。こんどは三人できてください。(一年 まつだしゅう)

「いっぽいっぽ」のえほんをよんでくれてありがとうございます。

わたしもわる口をいわないようにしたいです。(二年 たましろかよ)
「いっぽいっぽ」は、かなしい、うれしい、くやしいことも本にまつまっています、わたしの心もかなしくなったり、うれしい、くやしいきもちになりました。(二年 神山るあ)

わたしは「いっぽいっぽ」の絵本がとても大好きです。だからユカリさんから「いっぽいっぽ」の本をもらえてとてもよかったです。

(二年 ちねんめい)

きょう、田畑ユカリさんの話を聞いて、ともくんがへやで一人できているという話を聞いて、ぼくもいっしょになきそうでした。かわいそうと思いました。ぼくもつらいときはベッドにこもるからわかります。(三年 我那覇龍)

今日のお話を聞いて、しょうがいでもとても明るく元気でしたよ。それからいっぽいっぽのところ、ちいきのみんながてつだって、板をはり、歩きやすくしてくれてよかったですね。ともくんとしゅうちゃんも学校に行きやすくなってとてもよかったですね。これからは、元気できてほしいね。(三年 比嘉一心)

わたしは「いっぽいっぽ」を読んだことがあります。でももう一度二人ががんばるすがたを見て、とても感動しました。一番心に残った場面は、校長先生やちいきのみんなが二人がきつそうにのぼるのを見て、坂を作ってあげる場面です。わたしも女の子なのでいつかは赤ちゃんをうみます。田畑さんのようにもししうがいの子が生まれたら、今日のことを思いだして、田畑さんのようにがまんしてわが子を見守ります。

(三年 金城茉莉愛)

わたしは、おはなしを聞いて心が優しくなりました。そして、心がつぽみのようにふくらんできました。「歩くのが生きているしうこ！」という言葉がわたしが好きな一言になりました。そして、校長先生が木で坂を作ってくれてやさしいなあと思いました。人は優しい心を持っていると分かりました。これからは「いっぽいっぽ」を思い出してがんばっていきます。(四年 仲原若葉)

今日お話を聞いて、ああやっぱり人は助けあったらみんなが笑顔になれるんだなあと思うようになりました。ともくんやしゅうちゃんは、どんなに足が悪くても、学校が楽しい、自力で学校へ行きたいと思える心があるなんて、強い心だなと思いました。私はこれから人どうしで助けあえるようにしたいです。(四年 田場羽琉)

田畑ユカリさんの子どもたちは、しょうがいがあっても、こんなに勇気があつてすごいなと思いました。ぼくがしょうがいだったらこんなに勇気はできません。ともくんしゅうちゃんはいろいろなしれんをこえてきたのです。すごいなと思いました。ともくんは、せんもん学校にいるんです。

ね。しゅうちゃんは車いすでなんとかがんばったんですね。で、今は大
学にいるんですね。だからこの二人はすごいなと思いました。また、奥
間小学校にくるときは「いっぽいっぽ」の本を読み聞かせお願いします
ね。(五年 仲地鈴玖)

今日の人権講演会のお話を聞いて思ったことは、校長先生が階段のと
ころに板をはっていて、車いすを使っている二人のためにくふうしてい
てすごいなと思いました。また、心を素直にすれば、人を助けたりする
ことができるということもわかりました。私も心を素直にして、こまっ
ている人を助けたりすることができたらいいなと思いました。

(五年 北山美文)

今日、人権講演会のお話を聞いて、しゅうちゃんともくんががんばっ
て車いすのりながら歩いて、いじめをのりこえているところがすごい
なと思いました。もし、私の近くにしょうがいをもっている子がいたら、
そのときはやさしくしてあげたいです。(六年 親川華菜)

今日の人権講演会での田畑ユカリさんの話を聞いて、僕たちのクラス
にはしょうがいをもっている人はいないけど、もしもいたら、自分はそ
の人にやさしくしてあげられるかわからないと思いました。だけど、
今日の話聞いて、どうしてあげたらいいかわかったのでよかったです。

(六年 大嶺拓海)

今日、人権講演会のお話を聞いて、初めて「いっぽいっぽ」という本
を見ました。私はこの「いっぽいっぽ」を見て毎朝がんばって学校に登
校している二人と、それを見守るお母さんを見て、とてもすごいなと思
いました。その絵本の中のお母さんは、田畑ユカリさんということを知
って、ユカリさんはとてもいいお母さんなんだなと思いました。

(六年 大城愛樹里)